

第5回アドバイザー・ボード会合の概要

「アドバイザー・ボード」の第5回会合の日時・出席者等については、以下に示すとおりである。

日 時：2006（平成18）年10月4日（水） 18時00分～20時00分

場 所：大阪経営教育センター

出席者：

アドバイザー・ボード委員（五十音順，敬称略）

江崎勝久，太田敏郎，小椋昭夫，片山松造，河内鏡太郎，高崎正弘，
栢田圭兒

経営学研究科教員

正司健一，加護野忠男，中野常男，金井壽宏，松尾博文，平野光俊，
鈴木竜太，長田貴仁

（今津清，河津利恵子，今村友香）

第2期アドバイザー・ボードとしては第1回目の会合となる第5回会合では、4人の新たなメンバーを迎えた第2期アドバイザー・ボード委員の紹介が行われた後、委員就任をご快諾していただいたことへの謝辞が研究科長（学部長）の正司から述べられた。そして第2期ボードでは委員長といった職をおかないことが確認され、研究科長による司会のもと、次の報告と意見交換が行われた。

まず、議論に先立って、アドバイザー・ボード設置の意図・活動内容、さらに今回初めて会場として利用した大阪経営教育センターの概況説明が研究科長からなされた。

続いて、経営学研究科の研究活動の一端を紹介するとして、21世紀COEプログラム「先端ビジネスシステムの研究開発教育拠点」の拠点リーダーである加護野から「神戸の経営学COE」と題する報告が行われ、特にコーポレート・ガバナンスに関わる広範な問題に関して意見交換が行われた。

後半では、第2教務学生委員（MBA担当）の松尾から、ビジネススクールの現状および7月に採択された文部科学省の専門職大学院教育推進プログラム「大学と企業における経営教育の相乗的高度化」の紹介が行われ、わが国におけるMBA教育のあり方、さらに企業内における経営教育と経営学研究科との連携の可能性、経営学研究科の社会人MBAプログラムの今後について多様な意見交換が行われた。